

スマートシティ化を市民生活の質向上・職員の生産性向上につなげていくためには、明確なビジョンを策定したうえで、市民に必要とされるサービスを提供しつつ、職員の現状業務効率化も両輪で進める必要があります。

陥りがちな状況

当たり障りのないビジョンの策定



- 様々な原価に配慮した結果、何を目指すかわからないビジョンを策定

市民生活に役立たないサービスの創出



- 無理やりサービスを実装するが、市民に認知・活用されずに陳腐化

職員の工数がひっ迫されるDX



- デジタル化を推進したものの、アナログ業務もなくなり、職員の工数をひっ迫

名ばかりのスマートシティで
市民・職員がメリットを感じられない



弊社お役立ち

地域の強み・特徴を生かした目指す姿/ビジョンの策定



- 地域の強み・特徴を客観的に抽出したうえで、国内外の有識者の助言・市民の生の声に基づきビジョンを策定

生活の質向上に直結するサービスの創出 / 広報支援



- 地域のニーズに基づいてスマートシティサービスを企画
- ソリューション・事業者の選定から実装・広報までを支援

現状業務の課題を抽出したうえでの、業務効率化

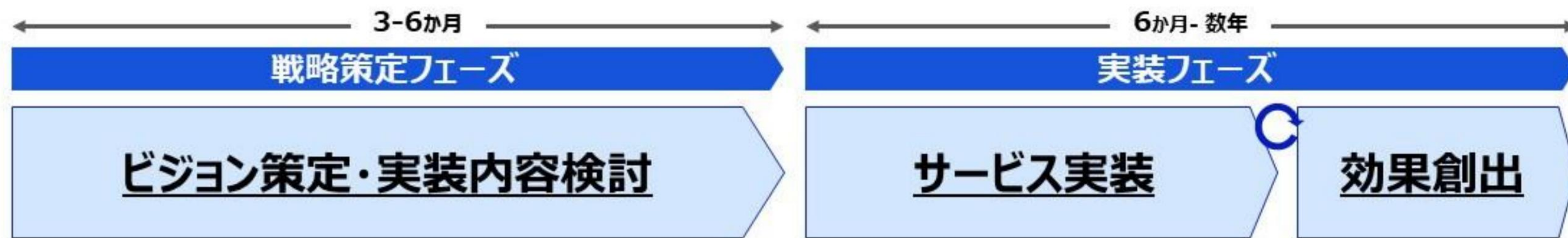


- 現状業務の改善ポイントを抽出したうえで、職員の負荷を最小化する業務効率化施策を立案・実行

市民生活の質向上・職員の生産性向上につながる
スマートシティ化を推進できる



スマートシティ化の成果を最大限発揮するためには、戦略策定フェーズでビジョン・自走化モデルを明確に定めたうえで、実装フェーズで市民・職員に真に価値のあるサービス/施策を実装していくことが肝要です。



- 地域・エリアの強み/特徴の抽出
- スマートシティとして目指す姿の抽出
 - スマートシティ推進会議設立
 - 市民のニーズ・想いの反映
- 全体での自走化モデル検討
- スマートシティサービスの企画・検討
 - ：

- サービス毎の自走化モデル検討
- 市民向けサービスの要件定義・PoC
- 業務効率化施策の要件定義・PoC
- サービス・施策の実装・広報
- 運用・定着化支援
 - ：

スマートシティ戦略策定/実装 戦略策定フェーズのアウトプット

以下のアウトプットを創出しつつ、貴市のスマートシティで目指すべき姿をスピード感をもって策定いたします。

